



“福はく内” “鬼はく外”

二月五日（火）節分の豆まきを行いました。今年、なごみ苑内にてインフルエンザが発生し、拡大を防ぐため、リハビリ室での節分の集いを中止したところ、鬼が2階、3階へと侵入してしまいました。

今年、『糖尿病鬼』と『なまくら鬼』です。皆さん、「負けんぞ〜！」と、力強く豆をまかれました。その後、現れた福の神から幸福の小判をもらい、嬉しそうな様子で大事に部屋まで持ち帰っておられました。



これで、旧年の厄と災難が祓い清められました。今年も皆さんのご健康とご多幸をお祈りいたします。良い一年になりますように。

お知らせ



一月二十三日、周山会山田禎一前理事長が九十三歳で永眠致しました。

滑川市野町に生まれ、金沢大学医学部卒業後は精神科医として医療に従事し、昭和三十二年に上京、調布市に山田病院を開設。東京都と神奈川県でリハビリテーション施設や老人ホームなどの関連施設を開設した後、平成元年に故郷富山に介護老人保健施設なごみ苑を開設し、平成八年には富山医療福祉専門学校を開校、リハビリ・介護・看護の人材育成に努めました。

医療・福祉・教育の分野での幅広い活躍と、地域社会と公共の福祉の発展に貢献したことが認められ、平成二十一年に滑川市名誉市民を受章。平成二十四年に名誉都民、調布市名誉市民を受章しました。

人と繋がることを何よりも大切にされた前理事長の思いを胸に、全職員一同これからも前を向き歩み続けたいと思えます。

追記

二月二十四日（日）十三時三十分、滑川市農村環境改善センターにてお別れの会を行います。

「今ここに」を大切に

なごみ苑では、日々利用者様と共に出来る事を考えて、フロア毎に様々なレクリエーション計画を立てています。毎月のおやつ作りや運動などは季節感や流行も取り入れて計画しています。



卓球大会



いとこ煮作り



利用者様のしたい事、慣れ親しんだ生活習慣を尊重し、皆さんの「今ここに」を大切に受け止めて、共に楽しめる場所であるために。

『「今ここに」共に生きる』

この言葉を胸に刻んで、これからも努力していきます。

★入退所報告（1月）

【入所】	
自宅より…	7名
病院より…	4名
計 11名	

【退所】	
自宅へ…	7名
病院へ…	9名
死去…	1名
計 17名	

《在宅への復帰率》	62.82%
《ベッド回転率》	11.96%

《ご家族の皆様へ》

全国でインフルエンザが猛威を奮う中、なごみ苑においても一部フロアで利用者様の感染が確認され、拡大を防ぐために全館の面会を禁止させていただきました。

面会禁止期間中、ご家族の皆様には大変ご不便をお掛け致しましたが、他フロアへの拡大を防ぐことができました。ご協力有難うございました。

ご家族の皆様も十分気をつけて下さい。